社会科学習指導案

３年１組　男子１９名　女子１４名
指 導 者　森谷　信久

１　単元名　国民として国の政治を考えよう

２　単元の目標

・　日常生活と政治の関わりについて関心を高め、民主的な政治と国民の政治参加の方法について、身の回りの社会的事象から課題を発見し、意欲的に追究することができる。　【関心・意欲・態度】
・　良識ある主権者として主体的に政治に参加することの意義を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。　【思考・判断・表現】
・　様々な情報手段を活用して収集した資料から、国の政治のしくみの学習に役立つ情報を適切に選択して読み取ったりまとめたりすることができる。　【技能】
・　公正な世論の形成と国民の政治参加の大切さに気付き、議会制民主主義のしくみや政党の役割、選挙制度についての知識を身に付けることができる。　【知識・理解】

３　研修主題との関連

自己肯定感、自己有用感を高める指導はどうあればよいか
～協働的な学びを通して思いや考えを練り上げる生徒を育てるには～

(1)　ICT 機器を活用した話合い活動

様々な主題図や資料を電子黒板等で拡大提示し、生徒が着目した部分や解釈した内容を書き込んでいく。生徒の思いや考えを共通の主題図や資料に位置付け、可視化することによって、自分たちで授業を創り上げているといった実感がもてるようにしていきたい。同じ主題図や資料でも着目した部分や解釈の違いを分かりやすく示すことで、自分の思いや考えを表現する意欲を高めるとともに、協働的な学びのよさを実感させていきたい。

また、追究内容の発表や自分の思いや考えの根拠を示す場面では、１人１台のタブレット PC を活用させる。タブレット PC で資料を拡大したり着色したりすることは、思いや考えの根拠が示しやすくなり、表現への意欲が高まると考える。さらに、ペア、グループ、全体等、多様な学習形態で表現する場を設定する。級友の思いや考えに触れて思考の手がかりを得たり自分の思いや考えを見直したりして、多面的・多角的な考察に練り上げる機会としていきたい。

(2)　「型」を用いた書く活動

本学級には根拠をもって自分の考えをまとめることを苦手としている生徒が多い。主題図や資料から必要な情報をうまく取り出せなかったり、取り出した情報を十分に活用できなかったりするため、最後まで十分に深められない状況が見られる。そこで、考えをまとめる「型」を定型文で示していく。定型文に当てはめて表現することで、自信をもって話合いに参加し、級友の考えと比較したり関連付けたりして、より多面的・多角的な考察に練り上げられるよう促していきたい。

また、授業の終末には、学習課題に対する振り返りを文章で表現する場を設定する。その際、キーワードを示してノートに書かせるようにする。キーワードを示すことにより、視点を明確にして本時を振り返ることでができ、基礎的・基本的な知識・理解の定着を図ることができると考える。

(3)　ジグソー学習を取り入れた２種類のグループ活動

本単元のグループ活動は２種類のグループを構成する。１つ目は、日本の選挙制度のしくみや長所・短所、歴史的経緯等を「大選挙区制」「小選挙区制」「比例代表制」に分かれて追究するグループ（テーマ別グループ）である。グループ編成にあたっては、氷見市長選挙や東京都議会選挙の話題を取り上げ、「選挙は同じ制度ばかりではない」「どうして選挙制度が違うのだろうか」等、選挙制度への興味・関心を大切にしてグループを編成する。また、追究活動では、Web や文献から必要な情報を取捨選択し、追究した内容をタブレット PC のプレゼンテーションソフトを活用して、複数枚のスライドを作成する。２つ目は、各テーマ別グループから一人ずつ集まり、情報交換するグループである（情報交換グループ）。それぞれの追究内容を紹介し合うことや複数のテーマの関連性を話し合うなどの協働的な学びを通して、日本の選挙制度について多面的・多角的に考察できるようにしていきたい。

4　指導計画（１０時間）

時配	主な学習活動・学習内容
第１次 １時間	**１　国民の願いを実現するために** 「国民の願いを実現するために、国会はどのような役割を果たしているのか」 ・政治とは ・国民の願いを実現する国会 ・国会議員の役割
第２次 ２時間	**２　世論とマスメディア** 「世論はマスメディアとどのように関わっているのか」 ・世論とマスメディア ・マスメディアと政治 ・インターネットと政治
第３次 ２時間	**３　政党の役割** 「政党は政治においてどのような役割を果たしているのか」 ・政党とは何か ・政党の役割 ・日本の政治の今
第４次 ３時間 本時 2/3	**４　選挙制度とその課題** 「日本の政治において選挙はどのように行われているのか」 ・政治参加の手段としての選挙 ・選挙制度のしくみ ・日本の選挙の課題
第５次 １時間	**５　国会の役割としくみ** 「国会は、どのような仕事を、どのようなしくみで行っているのか」 ・国会の主な仕事 ・国会のしくみ ・国会議員の身分保障
第６次 １時間	**６　国会の現状と課題** 「国会は、法律の制定においてどのような課題をかかえているのか」 ・国会の種類と会議のルール ・法律はどのようにつくられるか ・これからの国会の在り方

5　本時の学習

(1)　ねらい

衆議院議員の選挙制度が変更された理由を考えることを通して、国民の意見を反映させる選挙制度の大切さについて理解することができる。

(2)　展開

時配	学習活動	指導上の留意点　評価
5	1　新旧の新聞記事（投票日翌日）を比較し、本時の課題を確認する。 ・平成５年は氷見市は富山２区にあり、富山２区の当選者は３人だった。 ・平成８年は氷見市は富山３区で当選者１人だ。比例代表制で当選した候補者もいる。 ・平成８年からどうして新制度になったのだろうか。	・新旧の新聞記事を電子黒板で提示したり、一人一人のタブレット PC に送信したりして違いを見付けやくする ・新聞記事の見出しを空欄（新制度の衆院選）にして提示し、当てはまる語句を予想させる。
	どうして小選挙区比例代表並立制が導入されたのだろうか。	・追究内容をタブレット PC で発表できるよう準備させておく。
15	2　選挙制度について追究した内容を発表し情報交換する。 ①**「テーマ別グループ」**で発表の準備をする。 A **大選挙区制**　○○○　B **小選挙区制**　▲▲▲　C **比例代表制**　□□□ ②**「情報交換グループ」**で発表し、それぞれの制度の長所・短所等をまとめる。 **１班**　○▲□　**２班**　○▲□　**３班**　○▲□	・グループ活動の意義や進め方、時間配分等について確認する。 ・発表内容を整理できるよう長所、短所等の観点を示す。 ・各選挙制度の特徴が課題解決の手がかりになることを伝える。 ・「死票が多くなる」等について、分かりやすく発表しているグループを全体の場で紹介する。

	長所	短所	その他
A **大選挙区制**	死票を少なくできる。	選挙区が広く費用が多くなる。	平成 5 年第 40 回の衆議院議員選挙まで採用されていた。
B **小選挙区制**	政策を比較しやすい。	死票が多くなる。	平成 8 年の衆議院議員選挙から導入された。
C **比例代表制**	死票を少なくできる。	候補者に投票できない。	衆議院議員選挙では小選挙区制と組み合わされている。

・発表者に質問する時間を設け、互いに理解を深められるようにする。また、「なぜ○○は長所（短所）なのか」という型で質問するよう促し、よりよい選挙制度を目指していることに気付くようにする。

◆技能
選挙制度の長所・短所を分かりやすくまとめている。
（タブレット PC･ノート）

20 3　衆議院議員選挙が「大選挙区制」から「小選挙区比例代表並立制」に変更された理由について話し合う。（個→グループ→全体）

大選挙区制
～平成５年　～第 40 回

→

小選挙区比例代表並立制
平成８～　第 41 回～

・政治は政策の実行が大切なので有権者が政策を比較して投票できる方法が大切だと考えられるようになったから。
・死票が多い欠点をカバーできるように、死票が少ない比例代表制と組み合わされている。そうすれば、たくさんの意見を反映することができる。

・グループで話し合う前に、個人の考えをもつ時間を設ける。
・選挙制度の長所・短所から根拠を見付けるよう助言する。
・電子黒板とタブレット PC の通信機能を活用した模擬投票をし、有権者の思いを疑似体験する。
・各グループに思考ツールを記入したホワイトボードを配布する。

・「国民の意見」をキーワードとして示し、視点をもって振り返りができるようにする。

10 4　今日の学習を振り返り、選挙制度が変更された理由についてまとめる。
・国民の意見をできるだけ正確に反映できる選挙制度として小選挙区比例代表並立制が導入されるようになった。
・選挙制度の長所・短所を補い、国民の意見を反映できるようにと考えられて選挙制度はよりよいものに変更された。

◆知識・理解
国民の意見を反映できる選挙制度の大切さについて理解している。　（ノート）

・新聞記事の「投票率 59％　史上最低」に注目させ、次時「日本の選挙の課題」の学習につなげる。

(3)　授業の視点
２種類のグループを構成したことは、生徒の思考や表現を深めるのに有効であったか。

(4)　板書計画

4　選挙制度とその課題

課題　どうして小選挙区比例代表並立制が導入されるようになったのだろうか。

○日本の選挙制度

	長所	短所	その他
A **大選挙区制**	死票を少なくできる。	選挙区が広く費用が多くなる。	平成５年第 40 回の衆議院議員選挙まで採用されていた。
B **小選挙区制**	政策を比較しやすい。	死票が多くなる。	平成８年の衆議院議員選挙から導入された。
C **比例代表制**	死票を少なくできる。	候補者に投票できない。	衆議院議員選挙では小選挙区制と組み合わされている。

投票した多くの人の思いを、当選した人を通じて国会に届けてもらえる。

多くの国民の意見が国会に届かない。

学び合い

大選挙区制
～平成５年
～第 40 回

→

小選挙区比例代表並立制
平成８～
第 41 回～

・死票が多い欠点をカバーできるように…

・性別や出身地ではなく、政策の比較で投票できる。

・政治は政策の実行が大切なので有権者が政策を…

※ホワイトボード

タイマー

まとめ

・それぞれの選挙制度の長所・短所を補い、国民の意見を反映できるように選挙制度はよりよいものに変更された。